

『 JBA バスケットボールファミリー安心安全保護宣言 』

◆目的

ユニセフ「子どもの権利とスポーツの原則」に基づき、指導者 そして JBAとしての方向性を「JBA バスケットボールファミリー安心安全保護宣言」として明確にすることにより、子どもたちが楽しく、安心して、安全にバスケットボールに打ち込めるよう、暴力や暴言、ハラスメントのない健全なバスケットボール環境を実現することを目的に、2021年9月9日この宣言がつくられました。

◆背景・経緯

スポーツには、それそのものを楽しむことによって子どもたちの健全な心身を発展させ豊かな人間性を涵養する力があること、また、「フェアプレー」や「リスペクトの精神」を推進していくことによって社会を守る力、よりよい社会をつくる力があることに大きな価値があるものの、現状では、スポーツ活動における「暴力・暴言」、「ハラスメント行為」は後を絶たず、子どもたちからスポーツの楽しさや心身の健やかな成長の機会を奪っていることが、各種調査等により明らかになっています。

そこで、下記7項目を「JBAバスケットボールファミリー安心安全保護宣言」として採択し、JBA としての方針を明確にするとともに、今後関係各所と連携して状況の改善に努める。

◆「JBA バスケットボールファミリー安心安全保護宣言」7項目

1. 「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム」暴力暴言を根絶します。
➡【暴力・暴言根絶】
2. リスペクト・フェアプレーの精神を推進します。
➡【リスペクト・フェアプレー精神を育てましょう】
3. 子どもの意見・発言を尊重し、主体性を育みます。
➡【子どもの主体性尊重】
4. コーチライセンス制度を充実・普及させ、良い指導者を養成・配置します。
➡【指導者の資質向上】
5. 子どもの成長のために保護者と連携します。
➡【保護者との連携】
6. 子どもの安心安全なバスケットボール環境を整備します。
➡【セーフガーディング】
➡【子どもや弱い立場の人々の尊厳を傷つけたり、危険にさらしたりすることの無いように、組織(各協会・連盟・チーム)として取り組んでいくこと】
7. 年齢・性別・障がい・人種等で差別のないバスケットボールファミリーを目指します。
➡【差別をなくす】